

# 第5章 地域別構想

## 5-1. 地域区分の設定

### (1) 地域区分設定の考え方

地域別構想は、全体構想で示した部門別整備方針をもとに、地域の資源や特性を踏まえながら、地域ごとのまちづくりの方針を示すものです。そのため、地域の区分については、長い歴史の中で育まれてきた文化や地域の生活圏を鑑み、地域割りを設定しました。

### (2) 地域区分の設定

地域区分の設定については、将来都市構造で位置づけた3つの都市核、副都市核を拠点とした上で、古くからまちを形成してきた歴史性や道路など交通施設によるつながり、近隣市町も含めた現在の地域住民の生活行動圏を鑑み、以下の3地域に区分することとします。



■図-83 地域区分図

## 5-2. 北条・善防地域

### (1) 地域の情報

本地域は本市西部に位置し、北条地域の北条市街地は古くから門前町として、また播磨と丹波・但馬方面を結ぶ街道筋の在郷町として発展してきた歴史的なまちなみが残る一方、新しい土地区画整理事業地への定住が進み、市役所等の公共公益施設や北条町駅周辺の大規模商業施設を中心とした商業施設が集積する、本市の中心的な役割を持ったエリアとなっています。

また、善防地域は整備された農地が広がる中、北条鉄道が走る本市らしい風景が見られ、古法華自然公園をはじめ山地・丘陵地も多い自然豊かなエリアであり、山陽自動車道加古川北ICに近接するなど交通環境に恵まれた地域となっています。

このため、北条地域の用途地域では高いまちの利便性を求める人の移住が、善防地域では姫路市等へのアクセスの良さや身近な自然を享受できる環境を求める人のベルデしもさと等への移住が見られます。



■表-26 北条・善防地域の情報

道路	高速道路、IC	中国自動車道（地域北部）、山陽自動車道（地域南部）
	一般国道	国道372号
	主要地方道・一般県道	(主) 小野香寺線、(主) 高砂北条線、(主) 多可北条線、(主) 三木穴栗線、(一) 一乗寺法華口線、(一) 玉野倉谷線、(一) 豊富北条線、(一) 中寺北条線、(一) 法華山線、(一) 山下節東線、(一) 大和北条停車場線
	その他の主な道路	(市) 剣坂野条線、(市) 高室市村線、(市) 西谷坂元線、(市) 古坂高室線、(市) 北条栗田線
	鉄道	北条鉄道（北条町駅、播磨横田駅、長駅、播磨下里駅、法華口駅）
	主要な施設	市立加西病院、加西市役所、アステアかさい（図書館、アスモ、地域交流センターなど）、加西消防署、加西警察署、加西衛生センター、加西市クリーンセンター、加西市リサイクルセンター、加西市埋立最終処分場、加西市民会館、中央公民館、善防公民館
	主な文化財・観光資源	一乗寺、酒見寺、住吉神社、北条の五百羅漢、北条の宿（北条旧市街地）、加西カントリークラブ、播州東洋ゴルフ倶楽部
	自然、公園	播磨中部丘陵県立自然公園（古法華自然公園、加西アルプス）、下里川、丸山総合公園



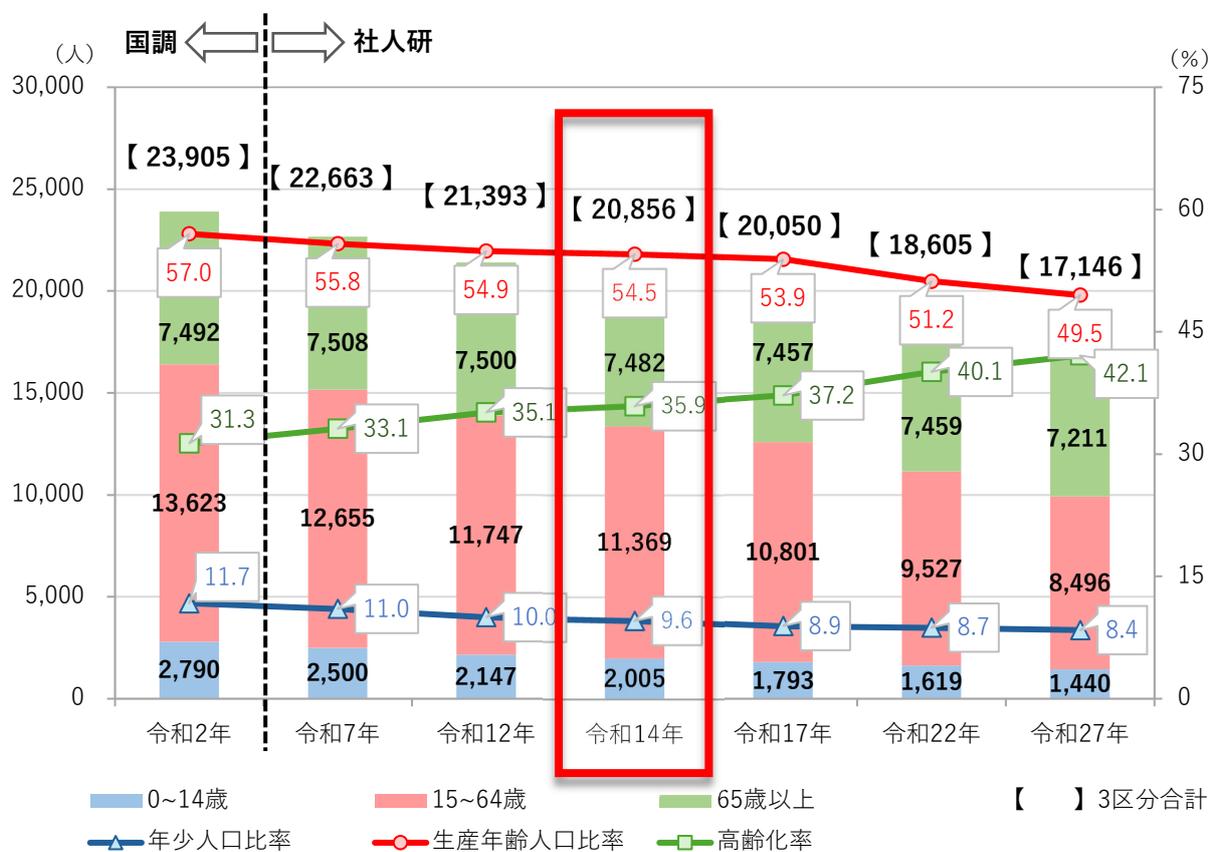
凡 例	
	都市核
	副都市核
	地区拠点
	生活拠点
	交通拠点
	産業拠点
	商業拠点
	新都市拠点
	緑道拠点
	地域公益拠点
	市街地ゾーン
	農産集落ゾーン
	自然ゾーン
	国土軸
	広域軸
	地域軸
	鉄道軸
	地域交流軸
	自然環境軸
	北播磨ハイランド・ふるさと街道
	都市核・副都市核対象圏域
	地区界



■図-84 将来都市構造図（北条・善防地域）

## (2) 人口・世帯数及び将来人口の推移

北条・善防地域の令和2(2020)年の人口は23,905人であり、将来人口の推移は、令和14(2032)年には約3,049人減の約20,856人になり、令和27(2045)年には令和2(2020)年の約28%減の約17,146人にまで減少することが予測されています。



■ 図-85 北条・善防地域の将来人口推移・年代別人口構成比

資料：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）、国勢調査より作成

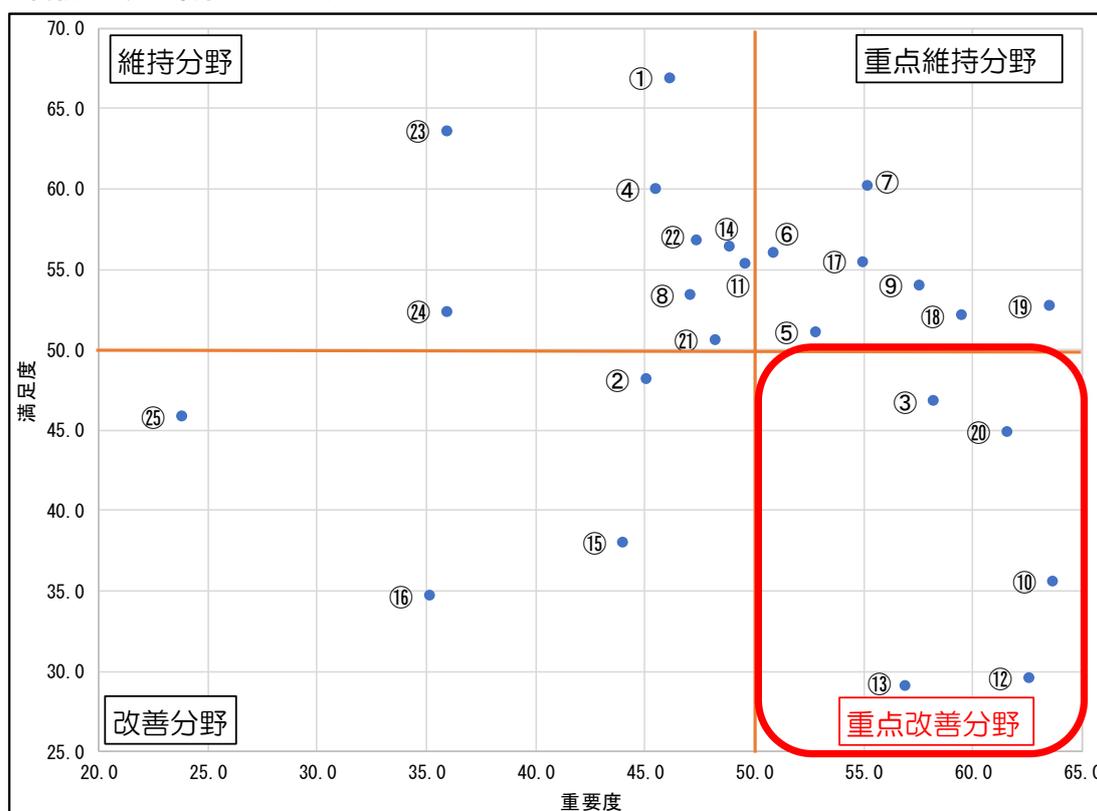
### (3) アンケート結果概要

#### 1) 住み心地の分析

「加西市(市全体)の住み心地」に関する項目のアンケート調査について、回答者の居住地域別にクロス集計した結果を点数化したものから、「満足度」「重要度」のそれぞれの偏差値を算出し、満足度を縦軸に、重要度を横軸にした分布状況を分析しました。

重要度と満足度の平均値座標(50.50)を中心に、グラフのエリアを上下左右に4分割し、「重点維持分野(重要度、満足度ともに高い分野)」、「重点改善分野(重要度が高く、満足度が低い分野であり、優先的に改善すべき分野)」、「改善分野(満足度、重要度ともに低い分野)」、「維持分野(満足度は高いが、重要度が低い分野)」と定義しました。

#### 北条・善防地域に居住(n=255)



■ 図-86 北条地域の住み心地（満足度と重要度の関係分析）

「重点改善分野」に当てはまるのは5つの項目で、分布状況から算出した「改善度」の順(改善する必要性が高い順)に示すと以下のとおりになります。

- ⑫車道と歩道の分離など安全で魅力的な歩行者空間の整備
- ⑩安全で快適な道路ネットワークの整備
- ⑬コミュニティバス等の利便性
- ⑳災害時の迅速な対応や地域住民の助け合いなどの体制整備
- ③集落の維持のため地域住民雇用の機会としての市内企業を拡張するまちづくり

## 2)自由記述での意見(概略)

### ①土地利用

- ・商業施設、娯楽施設の充実(北条市街地以外も含む)

### ②都市交通及び都市施設

- ・ICカード利用、便数の確保、終電の延長など、北条鉄道の利便性向上
- ・市街地内外の道路の拡幅による安全・安心な歩道、自転車道、車道の確保
- ・コミュニティバスをはじめ市内公共交通の移動利便性の向上

### ③公園・緑地

- ・子どもたちが遊べる身近な公園の充実

### ④下水道及び河川

- ・水道料金の低廉化

### ⑤都市環境及び自然環境

- ・北条町小谷、三口町、岸呂町等での鳥獣被害の削減を目的とした里山の整備
- ・太陽光発電の普及と秩序ある設置の指導

### ⑥市街地・住宅地整備

- ・市立加西病院の充実
- ・アステアかさいのリニューアルの検討
- ・北条旧市街地の空き家対策
- ・学生が住みやすいアパート等の充実
- ・加西市お試し滞在補助制度のPR

### ⑦その他

- ・教育、医療施設の充実
- ・健康福祉会館の活用
- ・外国人世帯のサポートの充実
- ・地域の美化活動の推進

## (4) 住民ワークショップ結果概要

### 1) 土地利用

- ・公共施設の統廃合で使われなくなった土地、建物が目立つ
- ・JA賀茂支店の跡地に住宅地を誘致する
- ・(統廃合の可能性がある)将来の廃校中学校の跡地利用
- ・コストコのような商業施設の誘致
- ・専門店等、特色のある施設の誘致で活性化して欲しい
- ・北条旧市街地で駐車場が欲しい

### 2) 都市交通及び都市施設

- ・北条鉄道の利用率が低い
- ・全体的に通学路が狭い
- ・北条高校への通学路だが、交通量が多いのに狭い((一)県道玉野倉谷線)
- ・三口交差点から下里小学校までの間、交通量が多いのに狭い
- ・東剣坂町の(市)福住剣坂線から賀茂小学校までの道が登下校時、とても危ない
- ・北条旧市街地の道路が狭く一方通行が多い
- ・北条鉄道の切符をICOCAで買えるようにして欲しい
- ・道路での自転車と車のすみ分け
- ・イオン周辺が土日に渋滞して行きにくく、あえて別の店舗へ行くことが多い
- ・市外に通じる県道等の整備 特に姫路方面への県道、南北方向の道路

### 3) 公園・緑地

- ・丸山総合公園で大きなイベントがしたい
- ・古法華自然公園のキャンプ場を整備して有料化してはどうか
- ・体験学習を兼ねて子供たちに古法華自然公園の整備を手伝わせるのはどうか
- ・北条以外には公園がない、農村公園はあるが利用者が少ない
- ・いろんな場所で様々な世代が楽しめる公園、体験ができる場所が欲しい

### 4) 都市環境及び自然環境

- ・ハウスや畑の上に太陽光パネルを置くと、問題は起きない
- ・太陽光設備が増えている割に電気代が安くなっていない。市民に還元し安くできる方法を考えて欲しい

### 5) 地域防災

- ・消防団の高齢化対策
- ・消防団に入りやすくする方法を考える
- ・女性消防団の創設
- ・交流を目的とした防災訓練があると参加しやすく交流を持ちやすい
- ・個々の危機感がない
- ・特に大きな災害がないため、いざという時に対応できない

### 6) その他

- ・3世代運動会を行うのはどうか
- ・3世代交流が必要(防災、高齢化、孤独がなくなる)
- ・縦のつながりができるように世代間交流が欲しい
- ・困り事のある親や子供たちが集まる場所が欲しい
- ・多世代交流の場として地域食堂(こども食堂)が出来る場所があれば良い
- ・農地、農業について、自分の持ち物だから自分だけが担う必要があると思わず、世代間、地域間で交流したら活性すると思う
- ・ぶどうの特産を活かして加西だけのお土産を作り、誰もが知っているものを作る
- ・豊岡市のように、特徴のある学校を誘致して欲しい

## (5) 地域の課題

### 1) 土地利用

- ・用途地域内の農地・遊休地等、低未利用地の有効活用を促進していく必要があります。
- ・用途地域内の低層専用住宅地や北条旧市街地については、良好な住環境を維持・形成していく必要があります。
- ・現在の市街化調整区域(近い将来の用途地域の指定のない非線引き都市計画区域)における既存集落については、少子高齢化と若い世代の転出による地域活力の低下が懸念されることから、その地区にふさわしい土地利用のあり方を検討する必要があります。
- ・用途地域縁辺部にあたる北条町東高室地区については、3本の幹線道路が交錯する交通の要所で、南部、東部と中心市街地をつなぐ機能を有するなど産業立地面での潜在能力が高い地域であり、産業拠点化と商業機能形成を図っていることから、市街地化を進める必要があります。
- ・アンケートでは、商業施設のほか、娯楽施設の充実を望む意見がありました。また、北条市街地以外で生活利便施設や医療施設の立地を望む意見が複数ありました。
- ・住民ワークショップでは、公共施設の跡地活用を懸念される意見、北条旧市街地の駐車場不足を懸念する意見がありました。

### 2) 都市交通及び都市施設

- ・幹線道路をはじめ地域内の道路網については、自動車、歩行者等の安全性の向上を図る道路整備を検討する必要があります。
- ・北条町駅については、重要な公共交通結節点として機能強化を図る必要があります。
- ・法華口駅をはじめ地域内の4つの駅については、利用促進と同時に利用する周辺住民の増加を図る必要があります。
- ・アンケートでは、ICカード利用、便数の確保、終電の延長など、北条鉄道利便性の向上、道路拡幅による安全・安心な歩道、自転車道、車道の確保や、コミュニティバスをはじめ市内の公共交通の移動の利便性の向上に関する意見が複数ありました。
- ・住民ワークショップでは北条鉄道の利便性向上のほか、安全な通学路の確保が必要という意見がありました。

### 3) 公園・緑地

- ・丸山総合公園をはじめとした都市公園については、経年劣化への対応や防災拠点として機能充実を図る必要があります。
- ・古法華自然公園や加西アルプスについては、緑遊拠点として利用促進を図るための整備を検討する必要があります。
- ・アンケートでは、北条市街地以外にも子どもたちが遊べる身近な公園が欲しいという意見がありました。
- ・住民ワークショップでは、丸山総合公園、古法華自然公園の更なる活用の検討について意見がありました。

### 4) 下水道及び河川

- ・近年の気候変動に対応した市街地内における浸水対策として、雨水幹線の整備を図る必要があります。
- ・アンケートでは、水道料金の低廉化を要望する意見がありました。

## 5)都市環境及び自然環境

- ・北条旧市街地のまちなみについて、失われつつある歴史景観を保全・形成する必要があります。
- ・アンケートでは、鳥獣被害削減を目的とした里山の整備について意見がありました。
- ・近年、山林、農地等で無秩序に太陽光発電施設が設置されている場所があり、アンケートや住民ワークショップでは秩序ある設置について意見がありました。また、住民ワークショップでは太陽光発電施設の電力を用いて電気料金を低廉化する検討を求める意見がありました。

## 6)地域防災

- ・減災に向けた安全・安心なまちづくりを進めていく必要があります。
- ・住民ワークショップでは、消防団の高齢化による組織維持についての懸念や女性の参画についての意見がありました。

## 7)その他

- ・学校や公民館をはじめとした不特定多数の人が利用する施設については、防災性の向上や誰もが利用できる施設環境を整備する必要があります。
- ・アンケートでは、地域の美化活動や外国人世帯のサポートに関する意見がありました。
- ・住民ワークショップでは、多世代交流ができる場所が必要との意見がありました。

## (6)地域の将来像

### 基本理念

ふるさとあたらしさが出会い、  
未来へ向かうまち 北条・善防

## (7) 地域づくりの基本方針

### 【用途地域】

#### 1) 土地利用に関する方針

- 主に低層・中高層の住居系である栗田地区・古坂地区の土地利用について、用途地域に即した住環境の維持・形成に努め、わずかに点在して残る小規模農地などの低未利用地については、住宅・共同住宅の立地を促進する施策を検討します。
- 第2種住居地域、準工業地域等も含まれる横尾地区については、わずかに点在して残る低未利用地の活用促進に努めます。
- 北条町駅を中心に周辺地域へ放射状に延びる幹線道路において沿道サービスを提供する市街地では、商業地としての利便性を享受できる施設の維持・充実、新たな進出を促すなど、誘導する建物用途に即した商業環境の維持・形成に努めます。
- 北条町駅西側の大型商業施設周辺の用途地域を工業地域から近隣商業地域に変更したことを受けて、中心商業地として魅力的な施設の充実とともに、娯楽施設の立地誘導に努めます。
- 鎮岩工業団地では、用途地域や地区計画に即した工業環境の維持と更なる充実、経済情勢の変化や企業ニーズに応じたタイムリーな区域の拡大に努めます。
- 北条鉄道で分断された一団の低未利用地が残る東南地区については、民間による有効な土地利用を誘導する施策を検討します。

#### 2) 都市交通に関する方針

- (主)三木中央線等の主要な道路については、交差点改良や歩道設置等の安全対策を県と協働で推進するとともに、未整備箇所の整備、適切な維持管理を行うことで、機能的で効率的な道路交通ネットワークの形成に努めます。
- 北条町駅は、北条鉄道、路線バス、タクシー、コミュニティバスが乗り入れする重要な公共交通結節点であることから、駅周辺においては歩行者や自転車が快適に移動できるよう、歩道・街路や交通安全施設をはじめとした人中心のウォークラブルな道路環境の充実に努めます。
- ICカード対応や便数の確保など、北条鉄道の利便性の向上に努めます。

#### 3) 公園・緑地等の公共空地の整備方針

- 丸山総合公園は、都市核内の緑遊拠点として市民の憩いの場の機能の維持・充実を図り、災害時の防災拠点としてもその機能の維持・充実を図ります。

#### 4) 環境形成の方針

- 大規模商業施設内を横断している下里川の河川空間は市民の身近な潤い空間として、ため池については住民参加による維持管理を行い、保全と活用を図ります。

#### 5) 景観形成の方針

- 北条町駅周辺の中心市街地については、良好な都市景観を創出するため、人中心の歩きたくなるウォークラブルなまちづくりに努めます。
- 旧街道沿いに江戸時代の在郷町の面影を残す北条旧市街地について、兵庫県条例に基づく歴史的景観形成地区の指定による建築物の修景助成などを活用した旧街道沿いのまちなみ保全・形成を図るとも

に、バッファゾーンに当たる街区、空き家・空き地化の進行や農地が残る街区については賑わいづくり・まちなか居住回帰に係る整備や基準の見直しを図るなどの新しい住環境づくりとの共存に努めます。

## 6)市街地整備の方針

- 都市核においては、北条町駅周辺、市役所・市民会館周辺と幹線道路沿道に主な都市機能が集約され、わずかに点在して残る低未利用地に更なる住宅立地が進む集約型都市の実現に向けた市街地整備を推進します。
- 用途地域内の低未利用地における建築物の立地促進を図るため、用途地域の変更や道路等のインフラ整備などを積極的に検討し、民間による有効な土地利用を誘導します。
- 北条旧市街地では住民と協働で行う狭あい道路整備や老朽危険空き家の除却などにより生じる空き地の集約化、地域コミュニティ醸成の場や避難路、避難場所等の空き地の再利用化の手法について検討します。また、地域住民の参画のもと、北条旧市街地の活性化に向けた取組について検討します。
- 横尾地区と古坂地区では、市役所と市民会館を核とした“加西市スマートグリッド”の拠点(コアセンター)を構築するなど、脱炭素のまちの実現に向けた社会・経済基盤の転換を促進します。
- 高室地区の東高室交差点周辺では、地域が必要とする工業環境と商業など都市機能の形成に努めることにより更なる市街地化を推進します。

## 7)住宅地整備の方針

- 北条旧市街地は、空き家の適正管理、空き家予備軍に対する啓発活動を強化し、まちなみを保全しつつ、空き家・空き地が密集する街区では民間資金を活用した再整備を検討するとともに、空き地については、道路の中心後退用地を確保し駐車場やポケットパーク等の共用施設に供することなどにより、地域の利便性と魅力向上を図ります。
- 古坂地区の低層住居専用地域では、バリアフリー改修などの促進を視野に入れた検討を行うとともに、徒歩圏内での生活利便性の向上のため、必要に応じて用途地域の見直しを検討します。
- 栗田地区、横尾地区、古坂地区では、当地区での定住が進むよう、子育て世帯等への居住支援の充実と住宅・共同住宅の立地を促進する施策を検討します。
- 高室地区では、生活利便施設の更なる立地促進とともに、地区計画等により低層住居専用地域の住環境の保全を図ります。

## 8)都市防災の方針

- 災害時の緊急輸送道路となる県道をはじめとする主要な道路は、災害時の円滑な交通の確保に向けた取組を兵庫県と協働で進めます。
- 北条旧市街地の住環境整備の推進による狭あい道路の拡幅や道路後退線の遵守により、緊急車両の通行改善、避難路の確保を推進します。

## 9)その他の都市施設の整備方針

- 外国人世帯のサポート体制の充実について地域を交えて検討します。

## 【現在の市街化調整区域(近い将来の用途地域の指定のない非線引き都市計画区域)】

### 1)土地利用に関する方針

- 西笠原町等の地区拠点や生活拠点、幹線道路沿道、北条鉄道駅やバス停周辺等においては都市機能の誘導を図り、地域が主体となって描く将来像の実現に向けた取組を支援します。また、空き家の利活用に向けた取組を推進します。
- 姫路市や山陽自動車道加古川北IC、播但連絡道路福崎北ICにアクセス至便な国道372号や(主)三木穴栗線、(主)多可北条線等の幹線道路周辺における商工業施設の立地や、集落内の地域事業所の拡張・移転、若い世代や女性の創業・就業を促進する土地利用を推進します。

### 2)都市交通に関する方針

- (主)三木穴栗線等の主要な道路については、交差点改良や歩道設置等の安全対策を推進するとともに、未整備箇所の整備、適切な維持管理を行うことで、機能的で効率的な道路交通ネットワークの形成に努めます。
- 北播磨ハイランド・ふるさと街道とその一部である国道372号加西バイパスについて、県と協働で整備推進に努めます。
- ICカード対応や便数の確保、駅周辺の活性化など、北条鉄道の利便性の向上に努めます。

### 3)公園・緑地等の公共空地の整備方針

- 古法華自然公園や加西アルプスについては、その機能を充実させる魅力ある施設の整備を推進します。

### 4)下水道及び河川等の整備方針

- 農業集落排水処理施設、コミュニティプラント処理施設について、効率性の観点から設備更新の機会に公共下水道への統合・接続を進めているところですが、統合・接続する方が効率的な施設については今後も計画的な統廃合を順次進めていきます。

### 5)環境形成の方針

- 集落周辺に広がる山林については、里山再生事業等を活用し、住民参加による里山の維持・保全を図り、自然環境整備に努めます。
- 下里川の河川空間は市民の身近な潤い空間として、ため池については住民参加による維持管理を行い、保全と活用を図ります。

### 6)景観形成の方針

- 現在の市街化調整区域に広がる山地・丘陵地の稜線については、里山再生事業等を活用し、住民参加による里山の維持・保全を図り、自然的景観の維持・保全に努めます。
- ほ場整備事業を実施したまとまりのある優良農地や集落では、北条鉄道や気球が飛ぶ風景と一体となった本市らしい“未来の田舎”の景観の保全・形成に努めます。

## 7)住宅地整備の方針

- 農業や地域の担い手となる若い世代の集落住民の多くが都市部へ流出していることから、区域区分廃止後の新しいまちづくりにおいて、兼業農家や将来の担い手候補者の勤務先となり得る産業施設立地や生活利便性の向上に資する商業施設立地を集落周辺で推進することで生活基盤の安定化に努め、既存集落周辺、国道372号等の幹線道路周辺、法華口駅等北条鉄道駅、バス停、小学校等の公共公益施設周辺や公共公益施設跡地等で、新生活のチャレンジを支援する“未来の田舎”へのUJターン促進に必要な住宅地整備により、将来の担い手候補となる若者世帯の定着を図ります。

## 8)都市防災の方針

- 災害時の緊急輸送道路となる国道372号や県道をはじめとする主要な道路は、災害時の円滑な交通の確保に向けた取組を兵庫県と協働で進めます。
- 富田地区、賀茂地区等の土砂災害警戒区域における危険性周知の徹底と避難行動体制の構築を進めます。

## 9)その他の都市施設の整備方針

- 汚物処理施設である加西衛生センターについては、今後も施設の安定的な管理・運営に努めます。
- 外国人世帯のサポート体制の充実について地域を交えて検討します。
- 公民館については、統合、他機能移転や複合化等について検討します。その際には、避難所機能も含む防災拠点、地域の交流拠点、統廃合前の中学校区の児童館機能等の要素も取り入れ、多世代交流の場として利用しやすい公民館を目指します。
- 学校施設等の将来発生する公共公益施設跡地については、地区との調和を保ちながら、施設の規模や敷地形状、地域的な特性や地域に与える効果などを考慮して、官民連携手法を軸に活用を検討します。



## 5-3. 加西地域

### (1) 地域の情報

本地域は本市南東部に位置し、幹線道路沿いに多くの農産村落が見られる一方、用途地域である中野町では地域主体による活動により商業施設が新たに立地するなどコンパクトな市街地を形成しつつあります。また、3つの産業団地と2つの産業集積地が立地するなど製造業が盛んで昼間人口が多い地域です。

地域中央には鶉野飛行場跡地があり、soraかさいと周辺に残る戦争遺跡群は平和学習の舞台となっているほか、統廃合後の中学校跡地活用やスマートタウンの整備構想など周辺で新しいまちづくりが始まっています。

本地域は、加古川市や加東市等へのアクセスも良く、製造業等の働き先が数多くあることに加え、近年の商業施設の立地が従来の自然豊かな住環境と相まって子育て世代からも職住近接した新しい定住先として期待されている場所となっています。



■表-27 加西地域の情報

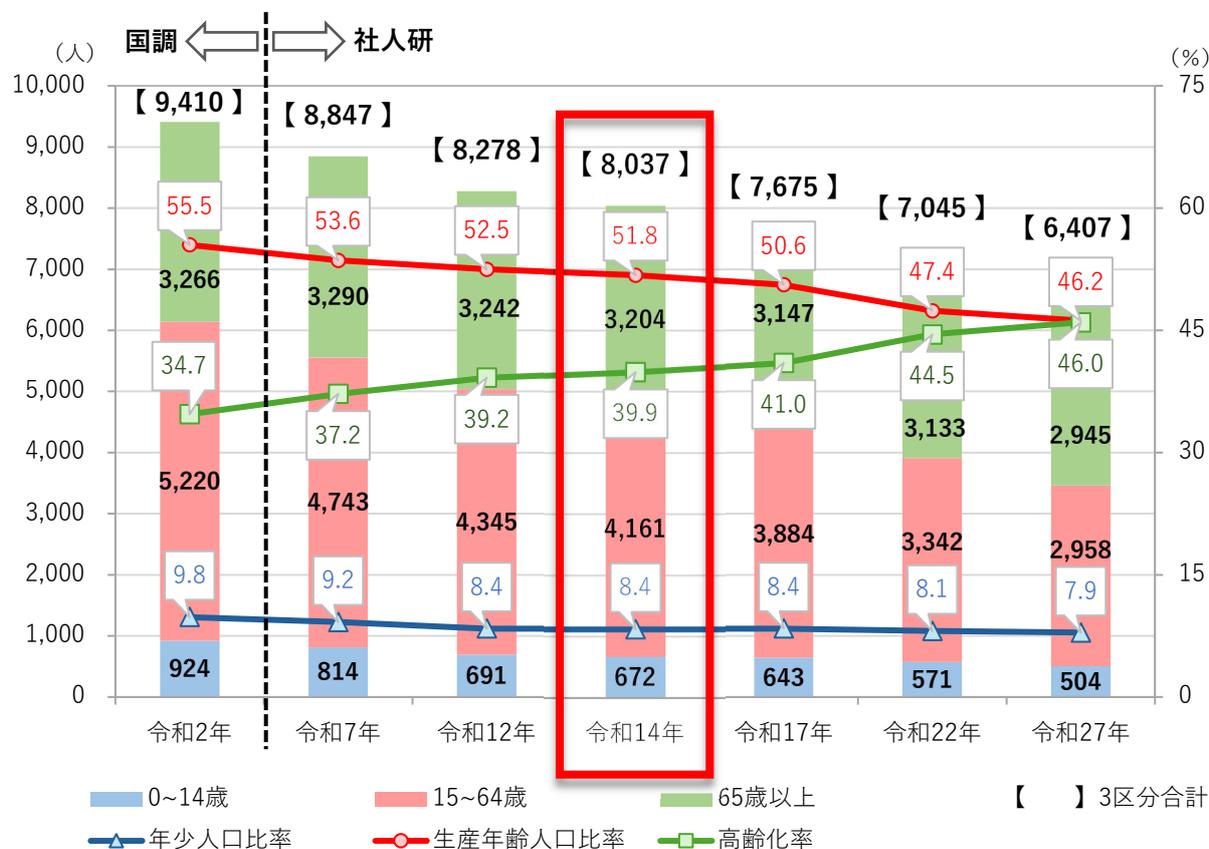
道路	高速道路、IC	中国自動車道（地域北部）、山陽自動車道（地域南部）
	一般国道	国道372号
	主要な地方道・一般県道	(主) 小野香寺線、(主) 高砂加古川加西線、(主) 多可北条線、(主) 三木穴栗線、(一) 高岡北条線、(一) 玉野倉谷線、(一) 野上河高線
	その他の主な道路	(市) 加西南産業団地線、(市) 剣坂野条線、(市) 玉丘常吉線 (事業計画中：(市) 鶉野飛行場線、(市) 豊倉日吉線バイパス、(市) 上宮木玉野線)
鉄道		北条鉄道（田原駅、網引駅）
主要な施設		アラジスタジアム、勤労者体育センター、soraかさい、南部公民館、加西消防署（加西南出張所）
主な文化財・観光資源		玉丘古墳群、いこいの村はりま、兵庫県立フラワーセンター、鶉野飛行場跡地、青野原伊虞収容所跡
自然、公園		下里川、普光寺川、万願寺川、玉丘史跡公園、あびき湿原、網引公園、網引緑地



■図-88 将来都市構造図（加西地域）

## (2) 人口・世帯数及び将来人口の推移

加西地域の令和2(2020)年の人口は9,410人であり、加西地域の将来人口の推移は、令和14(2032)年には約1,373人減の約8,037人になり、令和27(2045)年には令和2(2020)年の約32%減の約6,407人にまで減少することが予測されています。



■ 図-89 加西地域の将来人口推移・年代別人口構成比

資料：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）、国勢調査より作成

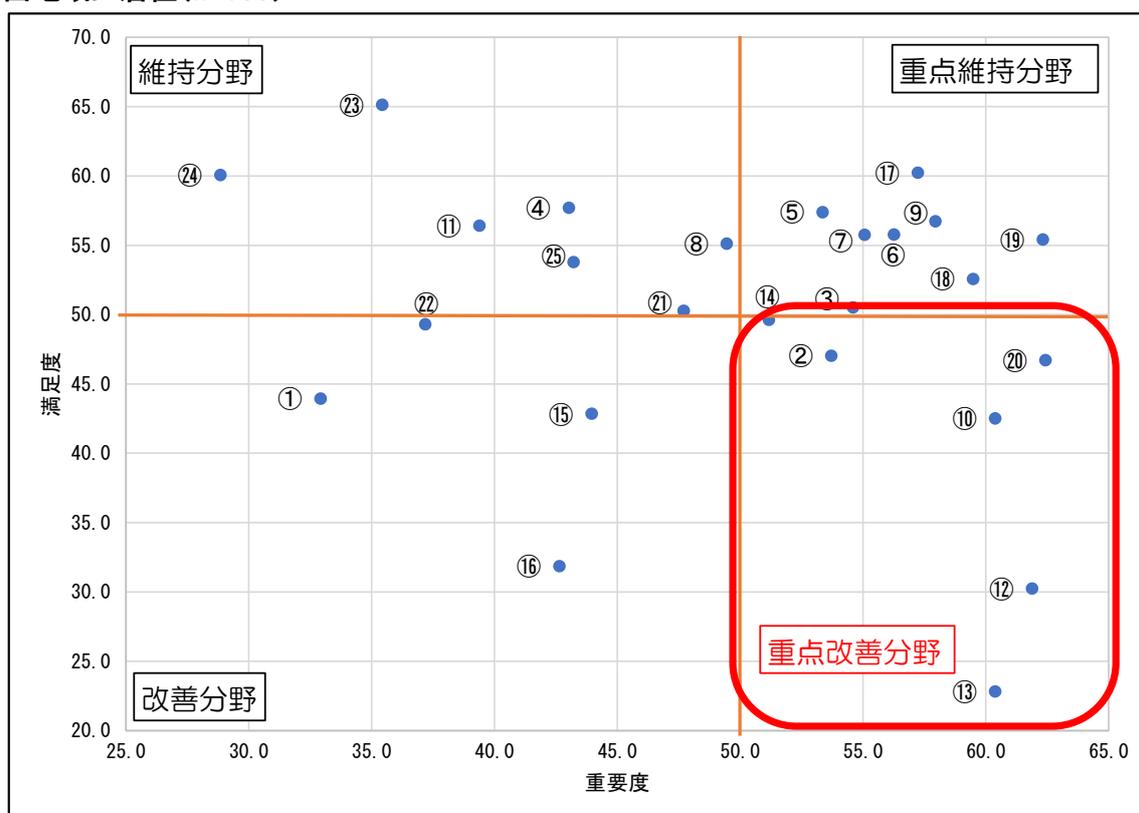
### (3) アンケート結果概要

#### 1) 住み心地の分析

「加西市(市全体)の住み心地」に関するアンケート調査について、回答者の居住地域別にクロス集計した結果を点数化したものから、「満足度」「重要度」のそれぞれの偏差値を算出し、満足度を縦軸に、重要度を横軸にした分布状況を分析しました。

重要度と満足度の平均値座標(50.50)を中心に、グラフのエリアを上下左右に4分割し、「重点維持分野(重要度、満足度ともに高い分野)」、「重点改善分野(重要度が高く、満足度が低い分野であり、優先的に改善すべき分野)」、「改善分野(満足度、重要度ともに低い分野)」、「維持分野(満足度は高いが、重要度が低い分野)」と定義しました。

#### 加西地域に居住(n=103)



■ 図-90 加西地域の住み心地（満足度と重要度の関係分析）

「重点改善分野」に当てはまるのは6つの項目で、分布状況から算出した「改善度」の順(改善する必要性が高い順)に示すと以下のとおりになります。

- ⑬コミュニティバス等の利便性
- ⑫車道と歩道の分離など安全で魅力的な歩行者空間の整備
- ⑩安全で快適な道路ネットワークの整備
- ⑳災害時の迅速な対応や地域住民の助け合いなどの体制整備
- ②目的に応じた機能を集落(小学校区)の中心に分担していくまちづくり
- ⑭だれもが楽しめる公園の充実

## 2)自由記述での意見(概略)

### ①土地利用

- ・市街化調整区域制度の廃止
- ・娯楽施設の充実
- ・徒歩で行ける範囲の利便性向上

### ②都市交通及び都市施設

- ・歩道、車道の整備
- ・街灯の整備、ガードレールの設置等、安全な通学路の整備
- ・北条鉄道の運転体験の充実
- ・乗り合いタクシーの導入
- ・コミュニティバスの利便性の向上及び利活用方法の検討
- ・便数増加等の公共交通の充実
- ・空飛ぶ車の導入等の先進的な取組の検討

### ③公園・緑地

- ・体育館の整備
- ・地域の憩いの場としての公園整備

### ④都市環境及び自然環境

- ・回遊型の観光によるまちづくり
- ・秩序ある太陽光発電の設置
- ・ぶどうの名産地を活かした観光振興
- ・稲作以外の農地利用と農家収入の増加
- ・ICT/スマート農業等に関する新しい取組の発信

### ⑤その他

- ・南部給食センターの跡地利用の検討
- ・地域企業、各団体のクリーンキャンペーンが活発化するなどゴミの少ないまちづくり
- ・子育て世代に選ばれるまちづくり

## (4) 住民ワークショップ結果概要

### 1) 土地利用

- ・空き家から廃墟になることへの対策がない
- ・まだまだ利用できる状態の空き家が増加している
- ・農地の再整備がしたい
- ・鶉野飛行場跡地の有効利用
- ・鶉野飛行場跡地の観光だけでない利活用
- ・空き家の利活用を所有者にもっと話してほしい
- ・空き家+田んぼ付きの家が活用されない(田んぼが嫌われているので空き家そのままになっている)
- ・神姫バス北条営業所周辺の開発
- ・道の駅+遊べる施設の設置(公園)
- ・中野町の開発が進んでいるが、小さい北条にならないような特徴的な開発を
- ・飲食店の誘致、住宅地の開発
- ・中野町の開発では個人の店舗が入れるようなテナントの誘致を
- ・新中学校を地域交流の場にする

### 2) 都市交通及び都市施設

- ・中野町西村医院前の国道372号と(主)三木中央線の交差点改良をしてほしい
- ・東西・南北の大きな道路整備
- ・富合小学校の前の道路が狭い
- ・歩道の幅を広げる、通学時の安全確保
- ・歩ける町、歩きたくなる町に
- ・人も車も集まれる広場を整備する
- ・脱！マイカーがないと生活できない町
- ・ねっぴ〜号の便数が少ない
- ・道路が自転車での移動に適していない
- ・地域と北条鉄道の連携
- ・玉野町ローソン前の(主)多可北条線と(一)玉野倉谷線交差点の右折レーンが狭い

### 3) 公園・緑地

- ・玉丘史跡公園の駐車場が狭い
- ・(統廃合される可能性がある)加西中学校跡地の利活用
- ・地域にある寺、神社の活用

### 4) 都市環境及び自然環境

- ・青野原俘虜収容所跡の当時の建物の再現(市が保管している)
- ・ソーラーパネルの景観が悪い
- ・観光マップを作る
- ・第一次世界大戦遺産→青野原俘虜収容所跡の整備・PR
- ・鶉野飛行場跡地と青野原俘虜収容所跡をつなぐ歴史をめぐるコース(歩き・自転車)と飲食、ホテルなど宿泊をセットにした観光ルート化

### 5) 地域防災

- ・危機感を持つ、災害が少ない平穏な地に住んでいるため平和ボケしている
- ・本市の防災ハザードマップに沿った防災ツアー

## 6)その他

- ・中学校の統廃合後に残る体育館の利活用→体育館が小さい
- ・新体育館の建設を→大きい体育館が欲しい
- ・富合会館を改修・修繕し、富合地区の憩いの場とする
- ・都会の方の田舎体験の宿としたい(富合会館)
- ・世代間の交流の場を作っていく
- ・人と人がつながっていけば、もっと魅力的な町になる
- ・農家さんが個々でなく全体的につながると良い
- ・専門的な病院の誘致
- ・住民の減少、子供がいないことへの対策を
- ・北条鉄道を撮りに来る人に対するの商売を考える
- ・地域でのコミュニティの欠落、役職リーダー不足
- ・閉鎖的な面がまだ強い

## (5) 地域の課題

### 1)土地利用

- ・用途地域内を中心に、点在する介在農地・遊休地等、低未利用地の有効活用を促進していく必要があります。
- ・現在の市街化調整区域における既存集落については、急速な人口減少と高齢化による地域活力の低下が懸念されることから、その地区にふさわしい土地利用のあり方を検討する必要があります。
- ・繁昌町国道372号沿線地区及び鶉野飛行場跡地周辺地区に近接する地区の有効な土地利用のあり方を検討する必要があります。
- ・現在の市街化調整区域(近い将来の用途地域の指定のない非線引き都市計画区域)が大半を占めているながら地域産業が発展している地域であることから、強みを活かす地域産業振興のための土地利用を検討する必要があります。
- ・アンケートでは、北条市街地以外で生活利便施設や医療施設の立地を望む意見が複数ありました。また、もう少し自由に地区内で建築行為ができるようにしてほしいという意見がありました。
- ・住民ワークショップでは、北条市街地とは異なるコンセプトの商業施設の誘致のほか、玉丘町の神姫バス北条営業所周辺の開発、鶉野飛行場跡地の観光以外の利活用を望む意見がありました。

### 2)都市交通及び都市施設

- ・幹線道路をはじめ地域内の道路網については、自動車、歩行者等の安全性の向上を図る道路整備を検討する必要があります。
- ・田原駅や網引駅については、利用促進を図る必要があります。
- ・アンケートでは、北条鉄道とコミュニティバスの利便性の向上に関する意見が複数ありました。
- ・アンケートや住民ワークショップでは、道路拡幅による安全・安心な通学路、歩道、自転車道、車道の確保に関する意見がありました。

### 3)都市環境及び自然環境

- ・近年、山林、農地等で無秩序に太陽光発電が設置されている場所があり、アンケートや住民ワークショップでは秩序ある設置について意見がありました。
- ・住民ワークショップでは、農業を取り入れた観光振興やスマート農業の導入による地域活性化に関する意見がありました。

#### 4)地域防災

- ・減災に向けた安全・安心なまちづくりを進めていく必要があります。
- ・住民ワークショップでは、市民の意識向上のため防災ツアーを実施するべきとの意見がありました。

#### 5)その他

- ・学校や公民館をはじめとした不特定多数の人が利用する施設については、防災性の向上や誰もが利用できる施設環境を整備する必要があります。
- ・アンケートでは、南部給食センターの跡地利用について意見がありました。
- ・住民ワークショップでは、世代間交流の場づくりの必要性などのほか、富合会館の利活用を望む意見がありました。

### (6) 地域の将来像

#### 基本理念

新しいものを受け入れ、新しい取り組みが生まれるまち  
“チェンジ” 加西

## (7) 地域づくりの基本方針

### 1) 土地利用に関する方針

- 加西工業団地、加西東産業団地、加西南産業団地、繁昌町国道372号沿線地区、鶉野飛行場跡地東部地区では、用途地域や地区計画に即した工業環境の維持と更なる充実や企業ニーズに応じたタイムリーな区域の拡大に努めます。
- 工業地域として市街化区域へ編入した繁昌町国道372号沿線地区と鶉野飛行場跡地東部地区に近接する一帯を土地活用促進地区とし、優れた交通利便性などの立地条件を活かした産業用地の創出を進めることで、産業施設の立地誘導、更なる集積を図ります。
- 鶉野飛行場跡地周辺において、戦争遺跡を保全・継承する区域、soraかさいを中心に賑わいを創出する区域、製造業、農業、新産業等で地域産業を振興する区域を適切にゾーニングし、利活用を図ります。
- 地区拠点や生活拠点、北条鉄道駅やバス停周辺等においては都市機能の誘導を図り、地域が主体となって描く将来像の実現に向けた取組を支援します。また、空き家利活用に向けた取組を推進します。
- 加古川市や加東市、小野市、山陽自動車道加古川北ICにアクセス至便な幹線道路周辺などにおける商工業施設の立地や、集落内の地域事業所の拡張・移転、若い世代や女性の創業・就業を促進する土地利用を推進します。

### 2) 都市交通に関する方針

- 国道372号、(主)三木宍粟線、(市)鶉野飛行場線及び(市)上宮木玉野線等の主要な道路については、交差点改良や歩道設置等の安全対策の推進、未整備箇所の整備、適切な維持管理などにより機能的で効率的な道路交通ネットワークの形成に努めます。
- 国道372号加西バイパス第1工区とそれに接続する(市)鶉野飛行場線、(市)上宮木玉野線の整備を進め、(市)玉丘常吉線と合わせて本市の東西南北をつなぐ新たな道路交通ネットワーク形成に努めます。
- 北播磨ハイランド・ふるさと街道については、整備推進に努めます。
- ICカード対応や便数の確保、駅周辺の活性化など、北条鉄道の利便性の向上に努めます。

### 3) 公園・緑地等の公共空地の整備方針

- 玉丘史跡公園を播磨国風土記の里の舞台として、「史跡玉丘古墳群整備(修復)基本計画」及び「加西市文化財保存活用地域計画」に基づく歴史文化遺産と共存する市民の憩いの場として、歴史・文化・教育の拠点施設の機能強化を図ります。
- フラワーセンターの施設機能の維持充実を兵庫県と連携して検討し、来訪者を迎える(主)三木宍粟線や(一)玉野倉谷線等の周辺幹線道路沿道の活性化を図ります。
- 鶉野飛行場跡地と周辺戦争遺跡群について、鶉野フィールドミュージアムとして維持・整備を進めます。

### 4) 下水道及び河川等の整備方針

- 農業集落排水処理施設について、効率性の観点から設備更新の機会に公共下水道への統合・接続を進めているところですが、統合・接続する方が効率的な施設については今後も計画的な統廃合を順次進め、維持する施設については適切な管理運営を行っていきます。

## 5)環境形成の方針

- 万願寺川、普光寺川では市民生活に潤いを与える河川空間の形成、ため池では住民参加による維持管理を行うことで保全と活用を図ります。
- フラワーセンター、アラジスタジアム、玉丘史跡公園、あびき湿原等を拠点とし、河川、ため池の水辺空間とを結んだ緑のネットワークの形成を推進します。
- 集落周辺に広がる山林については、里山再生事業等を活用し、住民参加による里山の維持・保全を図り、自然環境整備に努めます。

## 6)景観形成の方針

- ほ場整備事業を実施したまとまりのある優良農地や集落では、北条鉄道や気球が飛ぶ風景、ため池と一体となった本市らしい“未来の田舎”の景観の保全・形成に努めます。
- フラワーセンターの花づくり基地の機能強化を兵庫県と連携し進め、沿道や集落の彩りに必要な花づくりボランティアの育成に努めます。
- 中国自動車道加西ICから鶉野飛行場跡地に至る道路沿道では、ボランティア等の協力による緑化運動を支援します。

## 7)市街地整備の方針

- 九会北部地区における副都市核の形成のため、用途地域内の低未利用地については、民間による有効な土地利用を誘導します。
- 産業団地や繁昌町国道372号沿線地区、鶉野飛行場跡地東部地区の工業環境の維持と更なる充実を図ります。
- 鶉野飛行場跡地周辺等の九会北部地区では、soraかさい、統廃合後の中学校跡地等の公共公益施設の活用を含め、“未来の田舎”のモデルとなるスマートタウンなど新たなまちづくりを検討します。

## 8)住宅地整備の方針

- 農業や地域の担い手となる若い世代の集落住民の多くが都市部へ流出していることから、現在の市街化調整区域(近い将来の用途地域の指定のない非線引き都市計画区域)において、兼業農家や将来の担い手候補者の勤務先となり得る産業施設立地や生活利便性の向上に資する商業施設立地を集落周辺で推進することで生活基盤の安定化に努め、既存集落周辺、(主)三木穴栗線等の幹線道路周辺、網引駅等の北条鉄道駅、バス停、小学校等の公共公益施設周辺や公共公益施設跡地等で、新生活のチャレンジを支援する“未来の田舎”へのUIターン促進に必要な住宅地整備により、将来の担い手候補となる若者世帯の定着を図ります。
- 中野町用途地域では、低未利用地における住宅地整備の誘導を推進します。

## 9)都市防災の方針

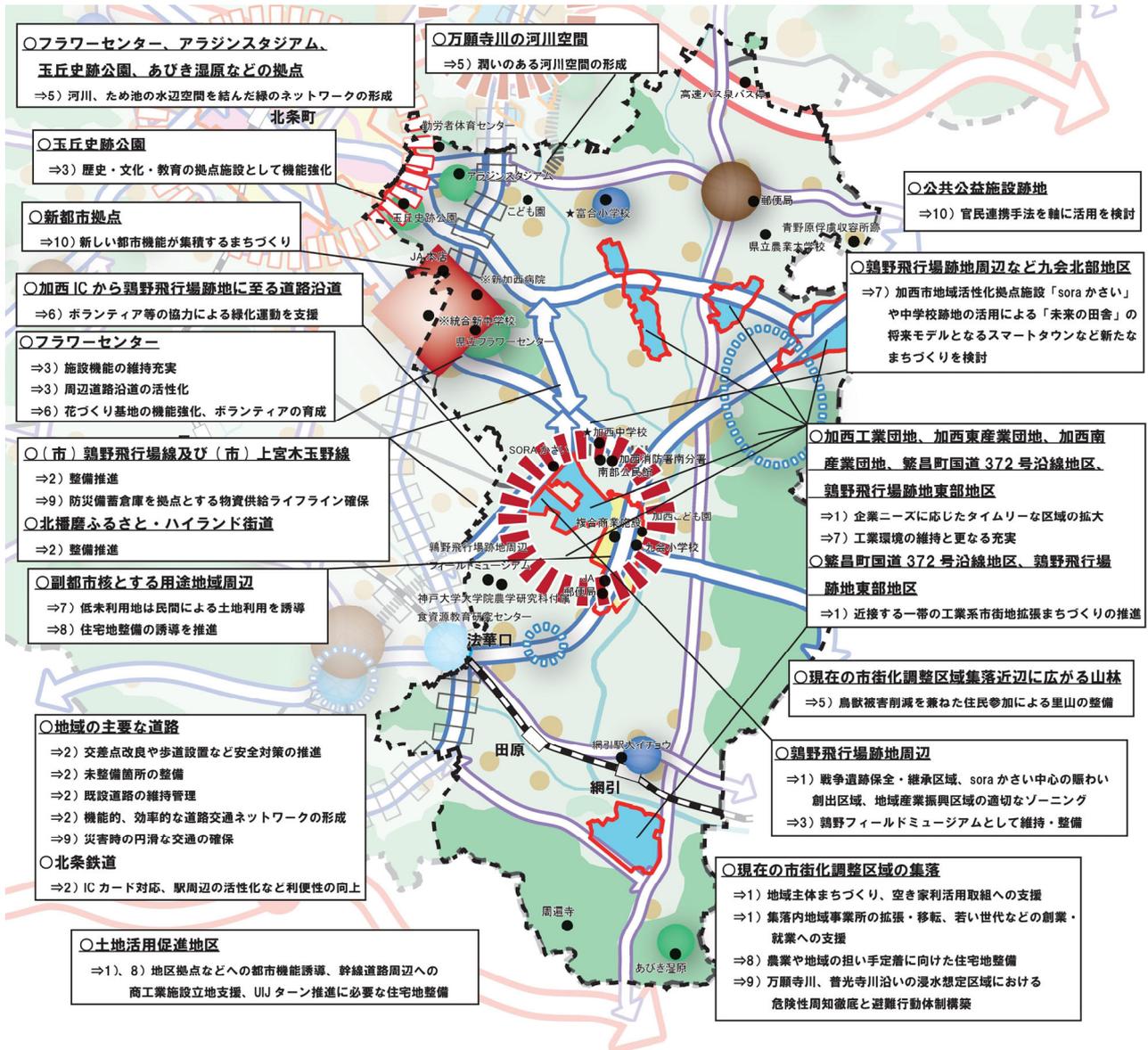
- 災害時の緊急輸送道路となる国道372号や県道をはじめとする主要な道路は、災害時の円滑な交通の確保に向けた取組を兵庫県と協働で進めます。
- (市)鶉野飛行場線及び(市)上宮木玉野線の道路整備を含め、鶉野飛行場跡地の防災備蓄倉庫を中心拠点とした物資供給のライフライン確保に努めます。
- 万願寺川及び普光寺川沿いの洪水浸水想定区域における危険性周知の徹底と避難行動体制の構築を

進めます。

#### 10)その他の都市施設の整備方針

- 公民館については、他の施設との統合や複合施設化等について検討します。その際には、避難所機能も含む防災拠点、地域の交流拠点、統廃合前の中学校区の児童館機能などの要素も取り入れ、多世代交流の場として利用しやすい施設を目指します。
- 学校施設等の将来発生する公共公益施設跡地については、地区との調和を保ちながら、施設の規模や敷地形状、地域的な特性や地域に与える効果などを考慮して、官民連携手法を軸に活用を検討します。
- 新統合中学校の建設、市立加西病院の移転等、本市中央部、広域軸である広域幹線道路沿道におけるまちづくりの根幹となる大型事業については、立地条件を活かした本市の新しい都市機能が集積する新都市拠点としてのまちづくりを推進します。

## (8) 地域のまちづくり方針図



■ 図-91 地域別方針図（加西地域）

凡		例		地域づくりの基本方針
住宅地	都市核	産業拠点	国土軸	
商業地	副都市核	商業拠点	広域幹線道路	
工業地 (産業拠点含む)	地区拠点	新都市拠点	地域幹線道路	
集落地区	生活拠点	緑遊拠点	北播磨ハイランド・ふるさと街道	
農業地区	交通拠点	地域公益拠点	整備構想がある幹線道路	
山林地区			その他の幹線道路	
用地地域	都市計画区域		鉄道軸	
用途地域候補	行政区域	地域界		

## 5-4. 泉地域

### (1) 地域の情報

本地域は加西市北部に位置し、多くを山林が占める自然豊かな地域であり、幹線道路沿いを中心に農山村集落が見られるほか、中国自動車道加西ICが位置し、自動車による交通利便性に優れています。また、旧来から播州織の産地であり、他地域との交流が盛んであった地域です。

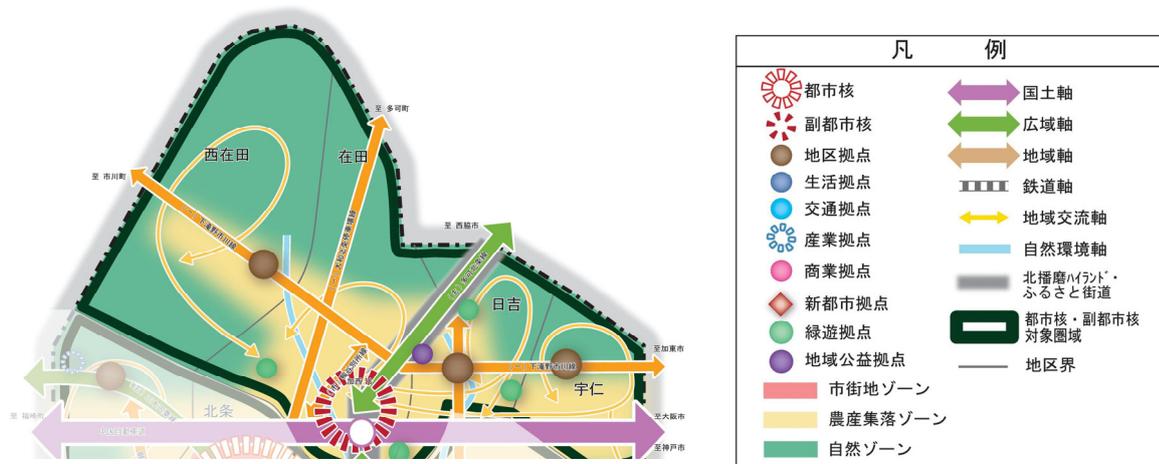
この地域は地域主体型交通等の地域間移動や新産業団地整備を見据えた移住・定住について特に熱心に議論されており、実現化に向けて取り組まれています。

本地域では、地域北部の古民家をリフォームしての入居や、新規就農に伴う移住など、自然や農業とともに田舎暮らしを実践する人が見られます。



■表-28 泉地域の情報

道路	高速道路、IC	中国自動車道、加西IC
	一般国道	—
	主要地方道・一般県道	(主) 多可北条線、(主) 高砂加古川加西線、(一) 下滝野市川線、(一) 大和北条停車場線、(一) 野上河高線
	その他の主な道路	(市) 鴨谷別所線、(市) 殿原若井線(事業計画中)：(市) 豊倉日吉線
鉄道		—
主要な施設		オークタウン加西、加西市斎場、北部公民館、泉よつばこども園、加西消防署(加西北出張所)
主な文化財・観光資源		八王子神社、日吉神社、石部神社、奥山寺、東光寺、普光寺、久学寺、殿原のイチョウ、NPO法人原始人の会 都市農村交流施設、青野運動公園、タカガワオーセントゴルフ倶楽部、加西インターカントリークラブ
自然、公園		普光寺川、万願寺川、油谷川

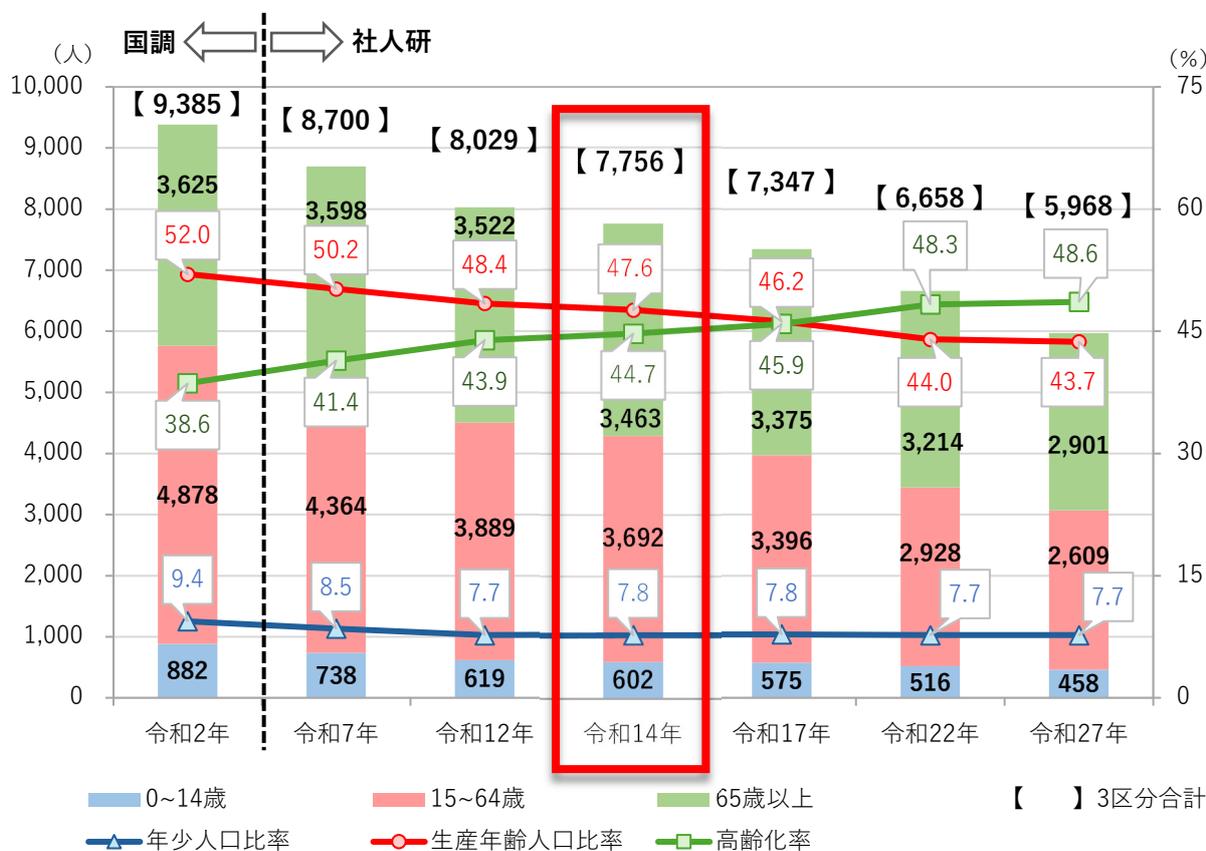


■図-92 将来都市構造図(泉地域)



## (2) 人口・世帯数及び将来人口の推移

泉地域の令和2(2020)年の人口は9,385人であり、泉地域の将来人口の推移は、令和14(2032)年には約1,629人減の約7,756人になり、令和27(2045)年には生産年齢人口が老年人口を下回り、人口総数も令和2(2020)年の約36%減の約5,968人にまで減少することが予測されています。



■ 図-93 泉地域の将来人口推移・年代別人口構成比

資料：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）、国勢調査より作成

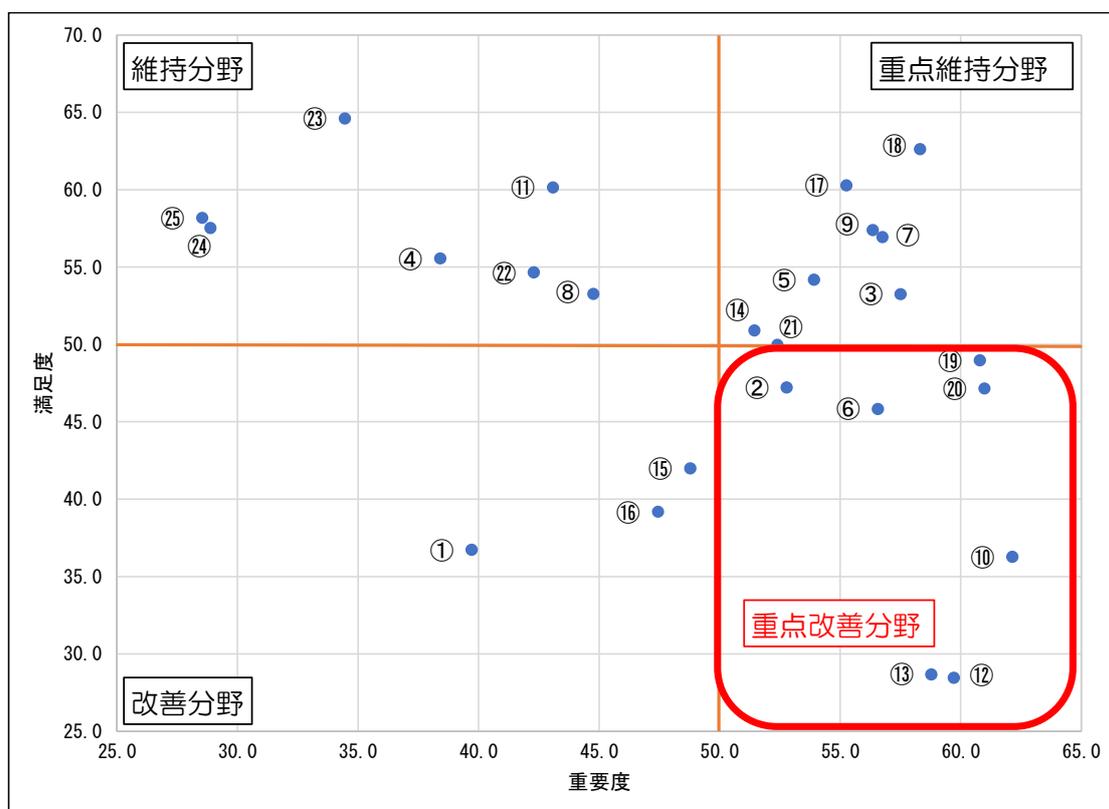
### (3) アンケート結果概要

#### 1) 住み心地の分析

「加西市(市全体)の住み心地」に関する項目のアンケート調査について、回答者の居住地域別にクロス集計した結果を点数化したものから、「満足度」「重要度」のそれぞれの偏差値を算出し、満足度を縦軸に、重要度を横軸にした分布状況を分析しました。

重要度と満足度の平均値座標(50.50)を中心に、グラフのエリアを上下左右に4分割し、「重点維持分野(重要度、満足度ともに高い分野)」、「重点改善分野(重要度が高く、満足度が低い分野であり、優先的に改善すべき分野)」、「改善分野(満足度、重要度ともに低い分野)」、「維持分野(満足度は高いが、重要度が低い分野)」と定義しました。

#### 泉地域に居住(n=101)



■ 図-94 泉地域の住み心地（満足度と重要度の関係分析）

「重点改善分野」に当てはまるのは7つの項目で、分布状況から算出した「改善度」の順(改善する必要性が高い順)に示すと以下のとおりになります。

- ⑬コミュニティバス等の利便性
- ⑩安全で快適な道路ネットワークの整備
- ⑫車道と歩道の分離など安全で魅力的な歩行者空間の整備
- ⑳災害時の迅速な対応や地域住民の助け合いなどの体制整備
- ⑥良好な農業環境の維持
- ⑱道路、公園や川など災害に強い都市基盤の整備
- ②目的に応じた機能を集落(小学校区)の中心に分担していくまちづくり

## 2)自由記述での意見(概略)

### ①土地利用

- ・建築制限の緩和(若者の市外流出を防ぐためどこでも家を建てられるよう、積極的な農地転用)
- ・都市計画の見直し(農振地区の計画見直し、市道・県道沿いの市街化区域への編入)
- ・増加する空き家の管理・有効利用(統廃合で空いている保育園等についても)
- ・若者定住策(ベッドタウンとしてPR、安い住環境)
- ・農業施策の充実(農業特化、田畑整理・合理化、新規以外の就農継続者への支援)
- ・企業誘致の促進(産業団地の早期完成)
- ・市内での雇用増加

### ②都市交通及び都市施設

- ・道路の整備(新規産業団地に伴う整備、市街化調整区域を横断している市道・県道の整備、自転車道・歩道整備)
- ・コミュニティバスの充実(家の近くまで来てくれる、本数増加)
- ・北条町以外でも住める、住みやすくなるような施設の充実(医療施設、商業施設、泉地域の生活をもっと考えて欲しい、高齢者の生活環境は厳しい)

### ③公園・緑地

- ・公園の整備(各町内に自然を活かした公園を)

### ④下水道及び河川

- ・水道料金の見直し

### ⑤都市環境及び自然環境

- ・ごみ収集の改善

### ⑥地域防災

- ・自然災害に強いまちづくりを

### ⑦その他

- ・観覧席のある体育館の整備
- ・地域で人々が交流、助け合える環境の整備(集会所や常に人が寄れる場を)
- ・観光振興(石仏等の拝観、レンタサイクル、スタンプラリー、SNS対応施策、市外から人が来てお金を使ってもらえるような施設を)
- ・教育の充実(小中一貫校の設置、北条高校の学力アップ)

## (4) 住民ワークショップ結果概要

### 1) 土地利用

- ・特別指定区域が住宅地の間に指定されている
- ・住宅地の整備(新しい自治区を作る)
- ・特別指定区域の区域指定の方法を変える
- ・若い世代が移住しにくい
- ・空き家を貸したいと思える仕組みづくり
- ・すぐに借りられる家があれば良いが
- ・市街化調整区域の更なる規制緩和による定住促進を
- ・特別指定区域制度の理解を進める(土地利用)
- ・新規居住者や新規就農者の声を聴く
- ・集落内の道路が狭い
- ・店舗等の開発が難しい
- ・家が建てにくい
- ・山の整備が必要
- ・田畑の再整備が必要

### 2) 都市交通及び都市施設

- ・県道大和北条停車場線と市道殿原別所線の道路幅が狭く、大型車の通行量が多い
- ・市道が傷んでいることが多い
- ・県道や主要な市道に歩道があまりない
- ・小、中学校の通学路の整備
- ・釜坂トンネルの実現
- ・計画的な道路整備が必要
- ・道路整備について少しずつでも良いので予算の枠を取って実現して欲しい
- ・道路の両側法面の草の処理で良い方法はないものか
- ・高速バスの本数が少ない
- ・車以外の交通手段がない
- ・小学校区だけ運行するコミュニティバスではなく、泉地域一体で連携したバス運営が必要
- ・泉地域から直接北条町に行くバスがなぜできないのか
- ・これからはバスより必要な時に来てくれるデマンドタクシーの方が需要が高い
- ・直接、加古川市に行くバスがあれば

### 3) 公園・緑地

- ・家族等で安心して遊べる公園がない
- ・泉よつばこども園付近に公園を作るのはどうか

### 4) 都市環境及び自然環境

- ・太陽光パネルによる景観の悪化が問題
- ・太陽光パネルへの規制強化(特に山などの斜面地への設置に対して)
- ・西在田や宇仁のホタル観賞のための車を止める所やサイン、ルール決めをして観光利用できたら
- ・放棄田が多い、有効活用を考えるべき
- ・害獣対策(畑や田んぼ)
- ・田谷開拓パイロットの活用や新規就農者の誘致(宇仁)

### 5) 地域防災

- ・災害時避難場所をどうするか
- ・泉地域には防災備品倉庫がないので備蓄倉庫を建てる
- ・いつ災害が起こるか分からない
- ・消防団の負担を減らす、合併を検討する、若い人の加入促進の意識付け

### 6) その他

- ・花畑街道・コスモス祭りの活性化(宇仁)

## **(5) 地域の課題**

### **1) 土地利用**

- ・加西インター産業団地については、第1期事業の早期完成、第2期事業の早期整備着手と同時に、ほ場整備事業の早期実施を進める必要があります。
- ・産業団地整備とほ場整備とともに住民主体のまちづくりが進む殿原町において、地域が目指す理想を実現する土地利用を進める必要があります。
- ・現在の市街化調整区域(近い将来の用途地域の指定のない非線引き都市計画区域)における既存集落については、急速な人口減少と高齢化による地域活力の低下が懸念されることから、その地区にふさわしい土地利用のあり方を検討する必要があります。
- ・アンケート、住民ワークショップともに、もう少し自由に地区内で建築行為ができるようにしてほしいという意見が複数ありました。
- ・住民ワークショップでは、住民に対する土地利用の制度理解のための機会や人口増のために新規居住者や新規就農者に意見を聞く機会の創出などについて意見がありました。

### **2) 都市交通及び都市施設**

- ・幹線道路をはじめ地域内の道路網については、自動車・歩行者等の安全性の向上を目指し、道路整備を図る必要があります。
- ・公共交通不便地区については、公共交通や地域主体型交通の充実を図る必要があります。
- ・アンケートでは、コミュニティバスの利便性の向上に関する意見が複数ありました。
- ・アンケート、住民ワークショップでは、道路拡幅による安全・安心な通学路、歩道、自転車道、車道の確保に関する意見がありました。

### **3) 都市環境及び自然環境**

- ・山林や田畑をはじめ豊かな自然環境については、自然景観の保全と活用を図る必要があります。
- ・近年、山林、農地等で無秩序に太陽光発電が設置されている場所があり、アンケートでも住民ワークショップでもその秩序化について意見がありました。

### **4) 地域防災**

- ・減災に向けた安全・安心なまちづくりを進めていく必要があります。
- ・住民ワークショップでは、防災備蓄倉庫の整備に関する意見や消防団の若い人の加入促進や負担低減に関する意見がありました。

### **5) その他**

- ・学校や公民館をはじめとした不特定多数の人が利用する施設については、防災性の向上や誰もが利用できる施設環境を整備する必要があります。

(6) 地域の将来像

基本理念

自然豊かで子どもの元気な声が聞こえる

ふるさと 泉

## (7) 地域づくりの基本方針

### 1) 土地利用に関する方針

- 加西インター産業団地については、第1期事業の早期完成、第2期事業の早期着手と同時に、ほ場整備事業の早期実施を進め、地区計画に即した工業環境の維持と更なる充実を図るとともに、周辺地域や就業者が必要とする生活利便施設の立地を支援します。
- 地区拠点や生活拠点、バス停周辺等においては都市機能の誘導を図り、地域が主体となって描く将来像の実現に向けた取組を支援します。また、空き家利活用に向けた取組を推進します。
- 加東市や西脇市、中国自動車道加西ICにアクセス至便な幹線道路周辺などにおける商工業施設の立地や、集落内の地域事業所の拡張・移転、若い世代や女性の創業・就業を促進する土地利用を推進します。

### 2) 都市交通に関する方針

- (主)多可北条線、(一)下滝野市川線等の主要な道路については、交差点改良や歩道設置等の安全対策の推進、未整備箇所の整備、適切な維持管理などにより機能的で効率的な道路交通ネットワークの形成に努めます。また、従前からの課題である釜坂峠トンネル整備については継続して要望していきます。
- 副都市核である加西インター産業団地周辺地区の工業環境の充実と集落の利便性を高める(市)山枝殿原線の整備を推進します。
- 北播磨ハイランド・ふるさと街道については、整備推進に努めます。
- 中富口バス停周辺については、公共交通結節点としての機能強化を図ります。

### 3) 公園・緑地等の公共空地の整備方針

- 青野運動公苑をはじめとした拠点について、機能充実を兵庫県と連携し進めます。

### 4) 下水道及び河川等の整備方針

- 農業集落排水処理施設、コミュニティプラント処理施設について、効率性の観点から設備更新の機会に公共下水道への統合・接続を進めているところですが、統合・接続する方が効率的な施設については今後も計画的な統廃合を順次進め、維持する施設については適切な管理運営を行っていきます。

### 5) 環境形成の方針

- 万願寺川、普光寺川、油谷川では市民生活に潤いを与える河川空間の形成、ため池では住民参加による維持管理を行うことで保全と活用を図ります。
- 青野運動公苑等の拠点は、河川、ため池の水辺空間と結んだ緑のネットワークの形成を推進します。
- 集落周辺に広がる山林については、里山再生事業等を活用し、住民参加による里山の維持・保全を図り、自然環境整備に努めます。

### 6) 景観形成の方針

- 久学寺、奥山寺、八王子神社をはじめとする歴史的文化財については、歴史的文化景観として保全に努めます。
- 中国自動車道加西ICから鞆野飛行場跡地に至る道路沿道では、ボランティア等の協力による緑化運動などを支援します。
- ほ場整備事業を実施したまとまりのある優良農地や集落では、ため池と一体となった本市らしい“未来の田

舎”の景観の保全・形成に努めます。

## 7)市街地整備の方針

- 加西インター産業団地の整備が進む泉地域の中心地である殿原町周辺では、副都市核の形成に必要な、移住者が居住し歩いて暮らせる都市機能が立地集積するまちづくりを進めるため、民間による有効な土地利用を誘導します。
- 加西インター産業団地の工業環境の維持と更なる充実、その周辺地区において就業者が居住する住宅地の整備促進と、就業者や企業関係者、周辺住民が利用する利便施設の立地誘導を図ります。

## 8)住宅地整備の方針

- 農業や地域の担い手となる若い世代の集落住民の多くが都市部へ流出していることから、現在の市街化調整区域(近い将来の用途地域の指定のない非線引き都市計画区域)において兼業農家や将来の担い手候補者の勤務先となり得る産業施設立地や生活利便性の向上に資する商業施設立地を集落周辺で推進することで生活基盤の安定化に努め、既存集落周辺、(一)下滝野市川線など幹線道路周辺、バス停、小学校、こども園等の公共公益施設周辺や公共公益施設跡地等で、新生活のチャレンジを支援する“未来の田舎”へのUターン促進に必要な住宅地整備により、将来の担い手候補となる若者世帯の定着を図ります。

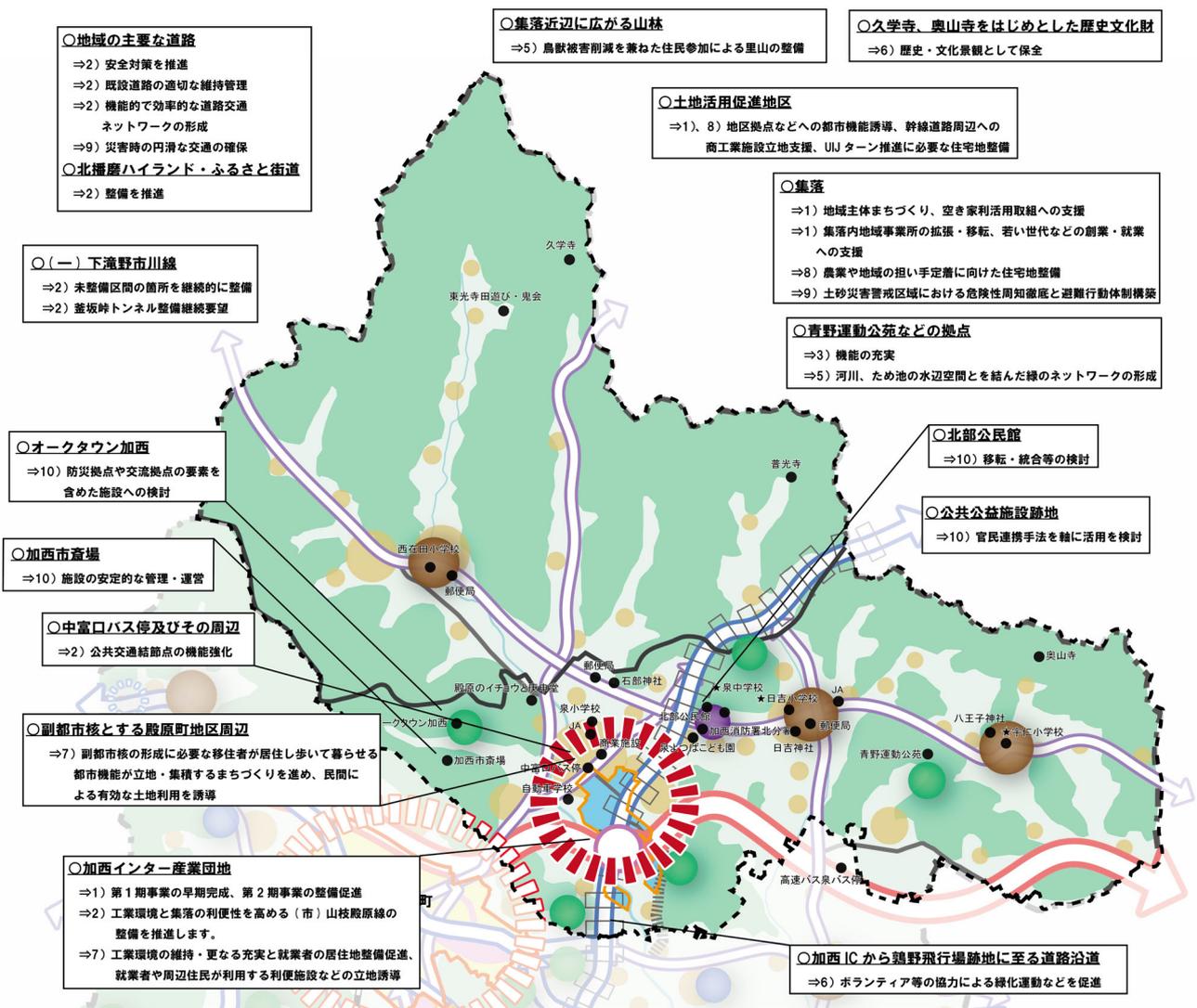
## 9)都市防災の方針

- 災害時の緊急輸送道路となる主要な道路は、災害時の円滑な交通の確保に向けた取組を兵庫県と協働で整備を進めます。
- 土砂災害警戒区域における危険性周知徹底と避難体制の構築を図るとともに県と協働で堰堤等の整備推進に努めます。

## 10)その他の都市施設の整備方針

- 北部公民館については、一部が土砂災害警戒区域となっており、早急に移転・統合等の将来計画を検討します。
- オークタウン加西については、キャンプ場の一部が土砂災害警戒区域となっていることを踏まえ、令和4(2022)年度に公民館・オークタウン加西の在り方検討委員会から報告された内容や避難所機能も含む防災拠点、地域の交流拠点等の要素も取り入れながら、将来計画を検討します。
- 加西市斎場については、引き続き施設の安定的な管理・運営に努めます。
- 学校施設等の将来発生する公共公益施設跡地については、地区との調和を保ちながら、施設の規模や敷地形状、地域的な特性や地域に与える効果などを考慮して、官民連携手法を軸に活用を検討します。

## (8) 地域のまちづくり方針図



■ 図-95 地域別方針図(泉地域)

凡		例		地域づくりの基本方針
住宅地	都市核	産業拠点	国土軸	
商業地	副都市核	商業拠点	広域幹線道路	
工業地 (産業拠点含む)	地区拠点	新都市拠点	地域幹線道路	
集落地区	生活拠点	緑遊拠点	北播磨ハイランド・ふるさと街道	
農業地区	交通拠点	地域公益拠点	整備構想がある幹線道路	
山林地区			その他の幹線道路	
用地地域	都市計画区域		鉄道軸	
用途地域候補	行政区域	地域界		